

# アシストスーツ導入成功のためのチェックリスト

## 内容

- 導入する目的がはっきりしている。 .....2
- 導入する作業を特定できている。 .....2
- どの機種が導入する作業に適しているか検討した。 .....2
- 実際に作業する場所では、装着した状況で作業できるか、動作の障害となる突起などがないか確認した。 .....2
- メーカーや会社によるサポート体制を確認した。 .....2

## アシストスーツ導入成功のためのチェックリスト

- **導入する目的がはっきりしている。**
- **導入する作業を特定できている。**

アシストスーツの導入にあたっては、事前の検討が特に重要。  
そのためには、アシストスーツを導入する目的と、導入する作業の特定が必須。  
これまでの実証事例から、アシストスーツの導入の効果は軽労化であることが明らかになってきた。労働時間短縮の効果がみられた実証事例はほとんどなかった。

- **どの機種が導入する作業に適しているか検討した。**

アシストスーツの機能や形状は、機種によって大きく異なる。  
アシストスーツの機種には、それぞれ適した作業がある。  
導入を想定している作業の動作に適した機種でないと、かえって支障となってしまう場合があるので注意が必要。

- **実際に作業する場所では、装着した状況で作業できるか、動作の障害となる突起などがいないか確認した。**

アシストスーツは、装着した分、体の外にハーネスや突起物が出っ張ることになることを十分に考慮する必要がある。  
実際の作業場所が狭かったり、障害物があると、アシストスーツが動作の支障になってしまう場合があることに注意。  
事前に導入予定機種を借用して、実際に使用する場所で支障がないか確認できることが望ましい。

- **メーカーや会社によるサポート体制を確認した。**

アシストスーツの導入・利用の際は、メーカーや会社との連絡を密に取り不具合、バージョンアップ等の情報を確実に得る必要がある。  
作業の種類によりアシストスーツによるアシストの強度の細かい調整が必要となる場合がある。調整方法を含めた使用方法に習熟するまで、丁寧な説明を受ける必要がある